



幡代だより

平成31年度(令和元年度)

第543号

渋谷区立幡代小学校
学校だより5月号

「単語」ではなく「文」で会話を

校長 奈良佳津志

「平成最後の…」 「令和初めての…」 という言葉があちらこちらで聞かれます。学校においても、子供に呼び掛けたり文書を出したりする際に「令和」を使うことになります。元号が変わるということはなかなか経験できることではないので、日本の歴史や伝統、不易と流行など、児童が世の中のことに触れる機会としても捉えてまいります。

私が職員室にいと、用事のある子供がやって来ることがあります。職員室に入る時には「失礼します。〇年〇組の〇〇〇〇です。〇〇室の鍵をとりに来ました。入ってもいいですか?」と言っています。大人ばかりいる部屋に入るときの子供たちの緊張感が伝わってきます。この言葉は決められた言葉ではありますが、自分の目的を「単語ではなく文で伝える」という大変重要な場面となっています。

ついつい「先生、トイレ!」「お母さん、ごはん!」と言ってしまう子がいます。「お母さん、晩ご飯はまだですか?」という文で会話をするようになれば、表現力が広がったり人との関係に潤いが生まれたりします。学習指導要領では、国語科はもちろんですが、すべての教科で言語活動を大切にして指導することになっています。それは、したことや考えたことを言葉によって表現し相手に伝えたり書き留めたりしていく活動です。つまり言語は人とのコミュニケーションをとる際の重要なツールであるとともに知的活動の基盤となっています。

また幡代小学校では、言語能力の向上を図る手段として、各教科の学習や特別活動などにおいて「話し合い活動」を重視しています。この成果として幡代小学校の児童は、自分の考えを伝えたり相手の思いを聞いたりすることがとても上手です。新しい学習指導要領でも「対話的な学び」の重要さが示されており、本校でもさらに充実を図ってまいります。ご家庭におかれましても、子供たちの言葉の使い方に関心を寄せていただければ幸いです。

災害発生時の引き取りについて

副校長 畝尾 宏明

本校では、緊急時の対応としてコース別の集団下校も考えています。例えば、台風の接近時など一斉に児童を下校させる必要に迫られた場合、コース別に担当の教員が付き添い、下校します。この方法での避難については、5月16日(木)の5時間目に避難訓練を行います。

渋谷区には「安否確認メールシステム」(通称「緊急メール」)があり、区や学校からの緊急な連絡を送信しています。この登録は年度末に一度消去され、新年度に再登録の手続きが必要です。以前に配布したお知らせを参照され、ご登録をお願いいたします。登録の手順などが不明な場合は、副校長までお問い合わせください。本校ホームページにも手順がアップされています。